

「中国における経営哲学のフロンティア」

彭 新武 氏

(中国人民大学哲学院経営哲学研究室長・教授／愛知大学ICCS客員研究員)

中国の大学には「経営哲学」という講座があります。日本では、「経営哲学」という言葉は稲盛和夫氏の提唱によって広く伝わっていますが、中国ではそれよりかなり早く定着していることはご存知でしょうか。稲盛氏は中国でも盛んに講演されており、彼のほとんどの著書や講演録は中国でも出版されており、ベストセラーになっています。また、豊田佐吉、松下幸之助、本田宗一郎と並んで「日本経営の4人の聖人」ともよばれています。

中国の経営哲学の源流はどこにあるのか、伝統的な経営哲学と管理思想はどのように継承され、また、ガバナンスモデルとして現代の社会や企業の統治にどのように活かされているのか。その過程においてどのように変容し発展してきたのか。このことについて、日本では必ずしも明らかにされておられません。

この度、中国における経営哲学研究の第一人者であり、中国人民大学哲学院経営哲学研究室長の彭新武教授をお招きし、これらの問題について存分に語っていただきます。

ぜひふるってご参加ください。

【講師紹介】

彭 新武 (PENG Xinwu) 氏 中国人民大学哲学院経営哲学研究室長・教授

1993年中国西北師範大学卒、2001年中国人民大学より博士号取得。北京師範大学管理学院ポスドクフェロー、2003年より中国人民大学哲学院にて教鞭をとる。現在は哲学院経営哲学研究室長。2008年よりソウル国立大学客員研究員、2013年より愛知大学国際中国学研究センター(ICCS)客員研究員。

専門分野は経営哲学、経営戦略、リーダーシップ研究、進化論・複雑系研究など。著書には、『管理哲学導論』『進化管理学』『企業戦略透視』『転覆MBA』『西方管理名著賞析』『中国管理智慧』など15冊、論文100本以上。IMI傑出管理学者賞、北京市高等教育精品教材賞、中国人民大学住友賞などを受賞。

【日 時】 2013年10月21日(月)16:30～18:00

【会 場】 愛知大学車道校舎 8階 K802教室

(名古屋・地下鉄桜通線車道駅下車1番出口よりすぐ)

一般公開、参加無料、申込不要、日本語通訳有り

開会の挨拶: 馬場毅・愛知大学国際問題研究所所長／現代中国学部教授

司会・コメンテーター: 李春利・国際問題研究所運営委員／経済学部教授